

## 白馬鑓ヶ岳遭難(2023年7月)

道を間違え引き返す際に滑落し、雪渓と岩の間に挟まれ動けなくなり、救助された。

長野県警察山岳遭難救助隊  
X (旧Twitter) 参照



## 解説

道を間違えて引き返そうと岩に腰掛けた途端、スリップして滑落。岩と雪渓の間に挟まり、身動きが取れなくなってしまいました。画像は、実際にAさんが発見されたときの状況です。

Aさんは、ザックの胸ベルトのホイッスルを吹いて周囲にSOSを知らせ続け、滑落から約3時間後、通り掛かった登山者がホイッスルに気が付き付近の山小屋に通報。居合わせた長野県山岳遭難防止常駐隊員が出動し、Aさんを引き上げて救助。

今回の事例は、ホイッスルの活用とAさんの執念が救助につながりました。またヘルメットのお陰で頭部の負傷がなかったことも不幸中の幸いでした。自然が相手の登山は、常に何らかのリスクが存在します万一に対する備えと慎重な判断・行動をお願いします。(長野県警察山岳遭難救助隊X参照)

鑓温泉までの登山道は、急な斜面を通過し鎖場もあったと記憶している。「あれっ？おかしい？」と思った次の行動で運命は決まる。登山道が分かりにくい場合もあるが、「岩に腰を掛けた途端スリップ」とあるので「あれっ？おかしい？」と思った後も『根拠なく進んでしまったの』だろう。道迷いからの滑落は重大事故に繋がるケースの一つだ。気を付けたい。